

# 市民向け周知及びACP（人生会議）の推進について

1. 令和6年度の実績報告	.....2
2. 令和7年度の計画（案）	.....6
3. 参考資料	.....10

# 1. 令和6年度の実績報告

## (1) 市民向け周知について

①在宅医療・介護出前講座（市民向け講座）：全3回

	開催月日	参加者	講座内容
1	令和6年7月25日	17人	よくわかる在宅医療・介護について
2	令和6年11月6日	43人	よくわかる在宅医療・介護 (終末期看護・心のケア・エンディングノート)
3	令和6年11月12日	13人	よくわかる在宅医療・介護について
	<b>計</b>	<b>73人</b>	

②「よくわかる在宅医療・介護」手引き作成：

令和5年度末に9,000冊印刷し、令和6年度中に5,755冊配布した。

③広報：

- ・市HPにて動画配信（令和6年10月から・令和7年6月末時点再生回数235回）
- ・地域包括支援センターあて回覧「エンディングノートを作ってみませんか？」（令和6年4月）
- ・新聞掲載（令和6年4月）
- ・広報しずおか掲載（令和6年11月）
- ・ラジオにて紹介（令和6年11月 FM-Hi、マリンパル清水）
- ・広告付き窓口番号案内表示システムにて放映（令和6年12月の1か月）
- ・他団体主催講座での紹介【済生会病院（令和7年3月）、静岡銀行（令和7年3月）】

# 1. 令和6年度の実績報告

## (2) エンディングノートの周知・配布状況について

- ①令和6年3月から令和7年3月までの印刷部数：17,500冊  
同期間の配布部数：16,513冊（内訳は以下のとおり）

配布先	冊数	%
病院・診療所	3,404	20.6
地域包括支援センター	3,030	18.3
市民（直接）	1,450	8.8
生涯学習センター・老人福祉センター	1,765	10.7
薬局	1,100	6.7
民生委員	2,499	15.1
訪問看護ステーション	576	3.5
区役所等	901	5.5
ケアマネジャー	325	2.0
介護事業所	452	2.7
その他	1,011	6.1
<b>計</b>	<b>16,513</b>	<b>100</b>

# 1. 令和6年度の実績報告

## (3) エンディングノートに係るアンケート結果

①市民の声（令和6年2月以降、エンディングノートのQRコードから回答いただいた方5名）

- ・色々な資料を揃えないと正確に記入できない。
- ・パソコンで記入したい。
- ・自分のこれからを考えるきっかけになった。
- ・【民生委員】タイトルからして話し辛く扱いにくい。民生委員には負担が大きい。高齢者に一斉送付で良いのでは。
- ・誰が渡すかによって受け取り側は不快に感じる。

②地域包括支援センターへの調査（令和7年5月実施）

○回答数：24/29（82.8%）

○地域ケア会議等におけるACP取り上げ実績

- ・取上げ実績：有 13センター / 無 11センター
- ・実績内訳：

地域ケア会議・勉強会の開催	3
（重複回答あり）：通いの場等での説明	5
：総合相談の中で紹介	8

○ACP、エンディングノートへの関心が高まっているか

- はい 13
- いいえ 2
- わからない 9

○ACP、エンディングノートを案内する際の課題等（重複回答あり）

- ・死をイメージさせるため、抵抗がある 9
- ・記載方法・活用方法が難しい、わかりづらい 11
- ・ACPへの意識の高さに差がある 3
- ・特に課題はない 1

## (4) 令和6年度本協議会及び部会でいただいた意見

### ① 市民への普及・啓発について

- ・SNSや若年層向け啓発も取り入れ、幅広い世代への発信を。
- ・「終活」というイメージを避け、前向きな副題（例：「これからの人生を豊かに」）を付けるとよい。
- ・年末年始やGWなど、家族が集まる時期をきっかけに話し合いを促すと効果的。

### ② リーフレットの作成について

- ・リーフレットはユニバーサルデザインを意識し、誰でも見やすく・手に取りやすいものに。
- ・他市の例（奈良市「私の未来ノート」など）のように、シンプルで親しみやすい名称や構成が有効。

### ③ 主な普及手段・場面

- ・民生委員や包括支援センター、ケアマネ、訪問看護師など地域の担い手による紹介が有効。
- ・地域講座や一人暮らし高齢者向けの集まりで、生きがいや人生の振り返りとして活用を。
- ・年末年始など家族が集まる機会を活用し、話し合いのきっかけとする。

### ④ 普及支援の啓発

- ・講師・普及担当者向けに、講習会とツール（スライド・動画・ロールプレイ例）を整備。
- ・成功・失敗事例を蓄積し、実践的な情報として共有する。

## 2. 令和7年度の計画（案）

### （1）市民向け周知について

#### ①在宅医療・介護出前講座（市民向け講座）

	開催月日	参加者	講座内容
1	令和7年7月18日	30人	よくわかる在宅医療・介護について
2	令和7年9月17日	36人	エンディングノートの活用について
3	令和7年8月11日	50人	エンディングノートの活用について

②「よくわかる在宅医療・介護」手引き作成：  
令和6年度末に5000冊印刷した。

#### ③広報：

- ・市HPにて動画配信
- ・介護保険被保険者証の発送時、同封（令和7年度）
- ・ラジオでの周知（令和7年4月）
- ・広報しずおか掲載（令和7年11月）
- ・広告付き窓口番号案内表示システムにて放映（時期調整中）
- ・SNSを活用した周知（時期調整中）
- ・エンディングノートに係る1ペーパーの作成（次ページのとおり）

## 2. 令和7年度の計画（案）

### （2）エンディングノートの周知・配布状況について

#### ①令和7年度に10,000冊印刷予定

- ・令和7年8月：残数が少ないことから、以下③のとおり修正の上、5,000冊印刷
- ・令和8年3月：次ページ（3）の調査内容を踏まえた修正や、終活に係る新規の取組の記載を充実し、本部会に諮った上で5,000冊印刷

#### ②パソコンでも入力可能にする

- ・令和7年8月からWord版を市HPに公開

#### ③修正案

- ・参考資料1のとおり

#### ④エンディングノート1ペーパー

- ・参考資料2のとおり
- ・令和6年度の議論を受けて、現在作成中。
- ・7/10にデザイン関係の有識者（常葉大学学長）に意見聴取を行い、意見を反映させている
- ・協議会に確認した上で、今年度中に完成予定

## 2. 令和7年度の計画（案）

### （3）ACPに係る調査について

#### ①市民向け

- ・対象：65才以上の静岡市民10,000名（既存の個別調査の中で併せて設問を追加してもらう）
- ・調査時期：令和7年11月（予定）
- ・質問案：

	質問	回答
1	ACP（人生会議）について知っていましたか 【1つ選択】	・知っていた ・名前は聞いたことがあった ・知らなかった
2	人生の最終段階における医療・ケアについて、家族や医療・介護関係者と話し合ったことはありますか 【1つ選択】	・詳しく話し合ったことがある ・少し話題にしたことはある ・話し合ったことはない
3	自分が望む医療・ケアについて、前もって話し合っておくことをどう思いますか 【1つ選択】	・必要だと思う ・必要ないと思う ・わからない

※これ以外に、既存調査においては回答者のプロフィールや最期を迎えたい場所について質問予定。

※今後、県や既存調査の所管課と調整の上、設問数や内容を確定する。

## 2. 令和7年度の計画（案）

### ②医療機関・介護事業所等

・対象：医療機関・薬局・歯科診療所・介護事業所

（3年に1回程度実施している実態調査の中で設問を設ける・全体は企画・情報共有部会で協議）

・調査時期：令和7年9月（予定）

・質問案：

No	質問	回答
1	患者・家族に対してACPを実施していますか 【1つ選択】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施している →No3へ</li> <li>・実施していない →No2へ</li> </ul>
2	（上記No1で「実施していない」を選択した場合） 実施していない理由を選択してください 【複数選択可】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いのためのノウハウがない</li> <li>・話し合う余裕がない</li> <li>・話を切り出すことに抵抗を感じる</li> <li>・話し合うきっかけがなかった</li> <li>・話し合う必要性を感じていない</li> <li>・対象となる患者がいない</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>
3	ACPの推進に必要と考える取組を選択してください 【複数選択可】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴機関内での研修や勉強会の実施</li> <li>・行政や関係団体が主催する研修や勉強会への参加</li> <li>・ACPを実施するためのツール</li> <li>・時間的余裕や人員の配置等の体制整備</li> <li>・エンディングノートの利活用</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>
4	静岡市がエンディングノートを作成していることを知っていますか【1つ選択】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知っている →No5へ</li> <li>・知らない →終了</li> </ul>
5	（上記No4で「知っている」を選択した場合） 次の内容について、該当するものを選択してください 【複数選択可】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向けの周知や配布を強化してほしい</li> <li>・内容がわかりやすく、使いやすい</li> <li>・記載内容を充実してほしい項目がある（具体的項目）</li> <li>・修正してほしい項目がある（具体的項目）</li> <li>・書き方が分かりづらく、活用しにくい</li> <li>・市販されているエンディングノートもあり、市独自で作成する必要はない</li> <li>・作成していることは知っているが、内容は把握していない</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>

## 3. 参考資料

### (1) 他市等の事例

#### ① ドラマによる啓発（横浜市）

- ・ACPを題材とした短編ドラマを制作し、YouTubeで公開

- ・<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/zaitaku/acp/ACPdorama.html>

#### ② 漫画・アニメの活用（大阪府）

- ・漫画冊子『みんなの人生会議』の制作・配布

- ・YouTubeアニメ動画の公開

- ・[https://www.pref.osaka.lg.jp/o100020/hokeniryokikaku/jinseikaigi\\_jigyau/acp\\_shizai.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/o100020/hokeniryokikaku/jinseikaigi_jigyau/acp_shizai.html)

#### ③ ゲームの活用

- ・「もしバナゲーム」（一般社団法人iACP）<https://www.i-acp.org/game.html>

- ・「どせばいいゲーム」（青森県・特養「三思園」）<https://sanshien.site/dosebair/index.html>

- ・「超高齢社会体験ゲーム」（一般社団法人コミュニティコーピング）<https://comcop.jp/>

### (2) 静岡県の実施状況

#### ① ACP活用推進に係る市民向けセミナー（年1回程度）

- <https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/iryo/iryoseisaku/1040760/1057962.html>

#### ② 県民向け「ふじのくに高齢者在宅生活“安心”の手引き」の作成（令和2年3月）

- [https://www.pref.shizuoka.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/024/556/tebikino2.pdf](https://www.pref.shizuoka.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/024/556/tebikino2.pdf)

### (3) 国の実施状況

#### ① 在宅医療・介護連携に関する研修やセミナー実施、リーフレット作成

- <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000061944.html>

#### ② ACPに係る周知啓発（イベント開催、リーフレットやアニメーション作成、特設サイト作成）

- [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_02783.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html)